

第13期 第3回 豊中市廃棄物減量等推進審議会 議事録

【日 時】	令和4年(2022年)11月30日(水)10時00分から11時30分まで
【場 所】	豊中市立地域共生センター 3階大会議室
【出席委員】	渡邊委員 花嶋委員 <u>小島委員</u> 井原委員 <u>小島委員</u> 小西委員 下村委員 高島委員 中澤委員 <u>榊原委員</u> 高井委員 吉田委員 米田委員 石原委員 <u>重長委員</u> (15名中15名出席：有効に成立) ___は、WEB参加
【傍聴者】	2名
【事務局】	甫立、道端、立谷、溝口、小坂、吉村、永富、北野、山口、山本、渡邊、内田、西岡、中村、藤田
【オブザーバ】	齋藤（アルパック）、飯野（豊中市伊丹市クリーンランド）
【配付資料】	・第13期第3回豊中市廃棄物減量等推進審議会（WEB会議）議事次第 ・第13期第3回豊中市廃棄物減量等推進審議会タイムテーブル ・資料1-1 第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（総論・ごみ処理基本計画） ・資料1-2 第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（食品ロス削減計画） ・資料1-3 第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（生活排水基本計画） ・資料1-4 豊中市のごみに関するアンケート ・資料2 第4次豊中市ごみ減量計画（第2章・第3章） <当日配布資料> ・レシート画像を送信するとマチカネポイントに還元

1. 開会宣言

本審議会は情報公開条例に基づき、公開の対象となる。本日は、2名の方が傍聴されている。
また、委員15名の内、15名が出席のため過半数に達しており、審議会規則第6条により本日の会議は有効に成立している。

2. 議事録署名委員について

小島委員と榊原委員に担当していただく。よろしく願います。

審議案件1 「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」中間見直しについて

○会長

それでは、「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」中間見直しについて事務局から説明をお願いします。

○事務局

<事務局より資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4に沿って説明>

○会長

ただいまの説明は、資料1-1が総論とごみ処理基本計画、資料1-2が食品ロス削減推進計画、資料1-3

が生活排水処理基本計画で、資料 1-4 がアンケート集計についてである。どこからでも構わないので、ご意見をいただきたい。

先ほど人口について、資料 1-1 の p.38 の人口も少し修正があったが、それほど大きな差はないとのことであった。また食品ロスについては、大阪府の 1 人 1 日当たりの排出量を基に計算したということであった。

○委員

国の計画は漢数字と算用数字が混在しているため、どちらかにあわせてはどうか。また、アンケートの回答率が 46.3%は多いのか、それとも少ないのか。

○事務局

表記については、漢数字に統一する。アンケートの回答率については、46.3%は多いと認識している。

○委員

資料の p.37「(5) リサイクルと適正処理に対応した分別収集体制の拡充」の箇条書き 2 つ目について、「市民がごみや再生資源を出し間違えるのは」とあるが、充電式電池内蔵製品などについて、もっと周知が必要ではないか。

また、p.36 の「事業系ごみの減量の推進」の箇条書き 4 つ目の内容がよくわからない。

○事務局

1 つ目の件については、市の啓発資料が市民ひとりひとりの手元に届いていないということもあるかもしれない。市の公式 LINE のチャットボット機能で分別の案内などを行っているので、活用してほしい。

○会長

委員の意見は、例えば歯ブラシ一つとっても、今までバッテリーの入った商品は無かったが、様々な商品が出てくる中でリチウムイオン電池が入ったような商品も出てきているので、それに対応する予定はあるのかという話だと思う。また、小規模事業所の古紙についての質問であると思う。

○事務局

令和 6 年度にごみの分別冊子の全面改定を考えており、現在、文言の整理などを行っている。

○事務局

小規模事業者が排出する古紙は量が少なければ、再生資源回収業者が回収せず、長い期間保管し古紙がたまってから排出するなど負担になるため、ごみとして焼却されることがある。これを改善してリサイクルされるような回収方法の構築に取り組むという内容になっている。

○委員

11 月 4 日からとよなか環境 TV で豊中市がリチウムイオン電池のことを配信しているが、すぐわかりやすかったし、おもしろかった。でも高齢者などは、YouTube は怖いというイメージもあるのか、見られていない。色々と発

信されているが、発信力が乏しいのかなと思う。紙媒体や LINE の情報発信も大切だが、なかなか市民に届いていないと思う。

○会長

様々な商品が出てくる中で、資源有効利用促進法に沿ってリサイクルをするという対応が難しい状況になってきている。中国製のは日本のメーカーで引き取ってもらえないこともある。自治体がどう対応するのか難しい問題になっている。

○委員

p.17 の「最終処分場」には、最終処分率が全国平均と比べて大阪府、豊中市ともに3%ほど高くなっているのはどうしてか。

p.46 の「2R（発生抑制・再使用）の促進」にある子ども服や家具のリユースなどの取組みについて、アンケートの p.11 でも家具のリユースなどの情報を知りたいという意見があるので、ぜひこのあたりについて頑張ってください。

○会長

最終処分率が高いというのは、最終処分量が多いということか。全量焼却している豊中市はこれで良いのか。これはフェニックスに依存しているのでこの様になっているということか。

○事務局

この最終処分率の数値については、環境省が公表している一般廃棄物処理実態調査結果に基づいている。関西が全国平均に比べると高いというのは、大阪湾のフェニックスで最終処分しているので、そのあたりの影響も考えられるが、関東圏の方が、資源化が進んでいる影響もある。このような要因から最終処分率が高くなっていると理解している。

○会長

関東は特に内陸の埼玉県などは、焼却ごみを持って行く先が無いので、焼却残渣のリサイクルと言う点で遥かに進んでいる状況である。リユースの件についてはどうか。

○事務局

p.46 に「子ども服や家具のリユース事業の拡充を図ります」と記載している。市のイベントで子ども服のリユースコーナーと設けると人気である。家具などは民間事業者の協力も得ながら、リユース事業の拡充を図りたい。

○委員

資料の p.35 に「少子化・高齢化の急激な進行による地域コミュニティの変容」とあるが、先ほど話もあった様に、どのように排出するのかという点について、LINE のチャットボットは便利だと感じる。職員の方に直接お聞きするのも早いですが、なかなかそういった問い合わせをされないため、他にも豊中市のコールセンターは、年中無休で聞けるなど、そのあたりの情報発信を行う旨を加えていただければと思う。

また、ごみ減量フォーラムが毎年開催されており、平成 30 年度には花嶋先生がコーディネーターを勤め、食品ロスをテーマにパネルディスカッションが行われたが、パネリストから報告があり、その時にアプリがあればという話になった。その当時はそういった便利なものはなかったが、今は様々なアプリなどもあるので、それらを活用するよう市民に発信していけばよい。

○会長

ライターなどは収集している作業員に手渡しでもよいのか。

○事務局

問題ない。

○委員

ライターやガスボンベなどは、収集作業員が気づくように、張り紙をするなどして排出してもよいと聞いている。

○会長

他にないか。特になければ、案件 2「ごみ減量計画の中間見直し」素案の説明をお願いします。

2. 第 4 次豊中市ごみ減量計画の中間見直しについて

○事務局

<資料 2 に沿って説明>

p 2 「E 多様な再生資源回収方法の構築（指標なし）」は、「3R に取り組む市民活動団体やグループ活動等との連携強化」が正しい表記である。

○会長

p 9 「2）プラスチックごみの削減に向けた取組み」が新規、p 19「2）モバイルバッテリーなどの危険物に関する市民啓発の強化」が拡充となっている。

分別方法が分かりにくいものの情報発信について、市民ニーズは大きいと感じている。運用する相談体制についても広く知っていただくと良い。相談時間は 21 時までか。

○委員

豊中のコールセンターは 21 時まで。夜遅い時間や年末年始も分別が分からない場合は電話を掛けると親切・丁寧に教えていただける。思いついた時に電話をして、解決してごみの分別につながればと思う。

○会長

委員の意見を踏まえた内容をお願いします。

○委員

P13 「5」 ③高齢化等社会の変化に対応した情報提供の方法の充実」のところだが、イラストの活用や外国人向け多言語版ガイドブックの拡充をこれまで望んでいた。AI 機器を持っている人は利用できるが、持っていない人にとっては、配布されるものが頼りになる。様々な国籍の方が豊中にはおられるが、ごみカレンダーも日本語版だけしかなく、読みにくい。イラストや小さいルビはあるが、よりわかりやすいイラストや図を使用したり、ルビを大きくするなど工夫してほしい。

カリキュラムに追加するのは難しいかもしれないが、環境学習の対象となっていない中学生に対しても、高齢者と同様、パンフレットなどの紙媒体による PR をお願いしたい。

○委員

小中学校では今、1人1台タブレットが貸与されている。セキュリティは厳しいが、クイズやゲーム、アンケート形式などで発信ができるかよいのではないかと。教育委員会との連携はハードルも高いと思うが、効果的だと思うので、ぜひ発信してもらいたい。

○委員

高齢者は IT についていけない人がたくさんいるので、紙媒体もやはり必要である。また、高齢者向けの IT 教育もあればと思う。

○委員

p17 に商工会議所についても取り上げられているので、出来ることは協力していきたい。また、市民の立場としては、p13 「5」 適切な分別排出の浸透 ②集合住宅における適切な分別、排出ルールの周知徹底」とあり、賃貸の場合、自治会組織もなく、管理組合もないので、ごみ収集日でない日のごみ出しや、分別していないものが、回収されずにいつまでも置いてあるということが結構頻繁にある。管理会社が積極的に関わり、情報を各戸に伝えるなども必要なのかなと思っている。管理会社も近くであればよいが、遠方の場合もあり、対応が難しい場合もあるが、このあたりの話は、住民間同士ですとトラブルに発展する場合もあるので、管理会社へのアプローチがあればと思う。

○会長

賃貸の件は、結構重要な話だと思う。不適切なごみ排出があった場合、長期間放置されているのは衛生面からも問題が多い。市は市内を衛生的に保つ必要があるため、管理会社にもアプローチする必要があると思う。

○委員

今の件について、我々許可業者も苦慮している所が多い状況である。許可業者として事業者のごみを収集しているが、一般家庭のごみは市の責任において収集している。昔は、一般家庭やマンションのごみも収集していた。管理会社は住民から管理費を集めて、ごみの収集を我々に依頼してくる場合もある。その場合は、我々は断っている。一般家庭系のごみを我々許可業者へ収集を頼むと費用が発生し事業ごみになってしまう。そのあたりの線引きを行政としてきちんとしていかなければならないと思う。ごみ減量に関しても分別すると（行政の）費用負担が大きくなる。市民の方々にも納得いただいて、ごみ収集費用のアップをする必要がある。一般家庭系の

ごみと事業系のごみの線引きをどこにするのか、基本的な事をしなければならないと思う。

○会長

大切な問題なので、原案の取組みメニューに入っていないかもしれないが、運用の中で検討いただければと思う。

○委員

生活排水について、し尿の汲み取りが市内に残っているが、処理した後の滓をクリーンランドで処理をしている。令和3年度に、し尿の大口や臨時が増えているが、理由があれば教えてほしい。

○事務局

大口や臨時は、工事やイベントなどの仮設トイレの汲み取りで、建設工事などが多くなると収集量が増えることになる。

3. その他

○事務局

12月1日から始まる豊中エコショップでお買い物「マチカネポイント還元」事業について説明

○会長

これをもって本日の議論を終了する。

○会長

次回は2月16日を予定しているが、また事務局から出欠確認をお願いしたい。

○会長

他に特になければ、本日の審議会はこれにて終了する。

4.閉会